

19万人のひろば



市役所新館玄関の案内板

●新しい案内板を設置しました 2月3日から市役所の新・旧館玄関付近に新しく広告付き地図案内板を設置しました。新館玄関では、地図に公共施設の場所を表示し、QRコードを読み取ったり、Felica 対応の携帯機器でタッチしたりすると、地図データを取得できます

ありがとうございました

- “大和田公民館で救急救命に活用してください”と、八千代市赤十字奉仕団様からAED（自動体外式除細動器）1台の寄付をいただきました。
- “社会福祉に役立ててください”と小田幸男様から2,600円の寄付をいただきました。

資源回収事業協同組合と災害廃棄物処理の協力協定を締結

防災体制の強化を図るため、2月5日、八千代資源回収事業協同組合と「災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定」を締結しました。災害廃棄物の収集運搬を必要とする災害が発生した時に人員・車両などを調達し、廃棄物処理に協力してもらう同協定は、八千代清掃事業協同組合に次いで2件目。災害時における協力協定は36件になりました。



協定を締結した秋葉市長と資源回収事業協同組合米澤代表理事(右)

「言葉・制度・心」の“カベ”を無くして安心できるように

総合生涯学習プラザで「災害時外国人サポーター養成講座」を開催

2月15日、千葉県主催の災害時外国人サポーター養成講座を総合生涯学習プラザで開催。参加者42人が、災害時に外国人が直面する課題やどのような支援ができるかを学びました。

訓練では、大地震が発生し、設置された災害多言語支援センターの業務に携わるという想定で、避難所の所在地・人数の確認や、ライフラインなどの情報を翻訳した多言語チラシ作成などを行いました。情報をホワイトボードに書いてチームで共有し、伝える情報を話し合っ



▲作成した多言語チラシを配って情報提供。「母国に連絡をとるにはどうしたらいいか」など被災者役から思わぬ質問も

て話し合っ

高橋さん。別会場では、市総合防災課が防災講座を開催し、避難者役の外国人25人が非常食の試食や、消火器の使い方、地震発生時の身の守り方などを体験しました。どんな時でも外国人が安心して暮らせるように、日ごろの取り組みがとても大切です。

譜面ではわからない曲のグルーブを表現しよう

萱田中学校で「熱帯JAZZ楽団」カルロス菅野さんのワークショップ

2月2日、萱田中学校で八千代市文化・スポーツ振興財団主催のワークショップ「ラテン音楽の仕組みと楽しみ方」が開催され、同校吹奏楽部生徒や市



▶コンガ、マラカスなどを使ってリズムパターンを表現

内アマチュアバンドメンバーが参加しました。

講師のカルロス菅野さんは、世界的なサルサバンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」の結成メンバーで、現在は人気ラテンジャズ・ビッグバンド「熱帯JAZZ楽団」のリーダー兼プロデューサーとして活躍する、日本の代表的なパーカッション奏者です。

「ソングラーベ」などのラテン音楽特有のリズムパターンや、メトロノームでのリズム練習など実演を交えて解説。参加者からは、2拍3連符のリズム練習法など質問も多く出ました。「譜面ではわからない曲のグルーブを、体で感じて表現してほしい」とカルロスさん。最後は萱田中学校吹奏楽部と一緒に、熱帯JAZZ楽団の「マンボメドレー」を演奏しました。

リサイクル・ガイド

消費生活センター 電話485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時まで（午後4時～5時は電話483-1151へ）

- 【あげます】▶枕木（4本）▶脚付きマットレスベッド（シングル）▶猫用砂（5L×4袋）▶水槽（ステンレス製30cm×90cm、プラスチック製30cm×60cmの2種類）▶ベビー布団一式（マット・毛布・掛布団）▶二連梯子（最長7m）▶学生服上下（180cmB体、ウエスト88cm）▶女児用靴（エナメル黒、21cm。新古品）▶木製の円形ガーデンテーブル（直径91cm、こげ茶、折りたたみ可。椅子4脚付）

◆市役所1階ロビーのリサイクル品情報コーナーもご利用ください。また、同センターでは食品の放射性物質検査（予約制）も行っています



▲リサイクル品情報コーナー



▲放射性物質検査機器

テレビ 広報 やちよNAVI

あの町この街
～米本地区～
J: COMチャンネル(デジタル放送11ch デジアナ変換放送2ch)で1～15日12時、20時30分/各15分間



霜柱膝折るごとく崩れけり
朝刊の遅れを許し春の雪
兄いもとトランプ手品に興じて春
北に生れ誇るひとつに冬の星
まな板のよき音聞きて外は雪
晦日蕎麦噺り白衣の医師若し
日溜りのぼかんとありぬ冬の苑
鶏沈み一瞬刻を止めにつけり
木洩れ日のさし初窓の冬気配
居間の燈を隣家も消さず年の夜
青銅の屋根しつとりと初弁天
オリオンに手の届きさう捕まりさう
濡縁の猫まんまるく冬日濃し
炬燵して風生俳句読む夜かな
片付かぬ書齋の隅の鏡餅
大晦日夕日すんと沈みけり
白鳥の羽を休めし人造湖
選評 一句目、寒気が強まると畑の片隅、切通し、川辺
の崖などに霜柱が立つ。二十センチ程のものもある
と聞く。日に照らされて崩れた姿は痛々しく、「膝を折るよ
うに崩れた」は巧みである。自分が掴み取った感動を、何々
のようだと表現するのが俳句だ。二句目、先日の大雪の時、
新聞が届くのが大分遅れたが相手が雪とあっては仕方ない。
春の雪の醸し出す情感が納得だ。(春の雪青菜をゆでてみた
る間も…細見綾子)三句目、よくある情景だが下五を「春」
で止めリズム感が出た。仲の良い兄と妹の笑い声も聞こえて
くる。(雁啼くやひとつ机に兄いもと…安住敦)

多田くに子
大和田 羽生田俊一
大和田新田 松本 真佐
勝田台 芳賀 博子
上高野 利守富士子
勝田台北 一條 修子
勝田台 廣鹿 一平
勝田台 椎名 泰光
八千代台南 豊永 純子
大和田 内藤 四郎
勝田台 間瀬 花
八千代台西 渡辺 和子
米本団地 那須 伸子
大和田新田 小針 光
大和田 青木 滋
米本 千葉佐代子
勝田台 三橋 昇

やちよ俳壇 495回 小林希世子選



広報やちよは、市ホームページでも見ることができます(PDF版)